

ADULT ONLY

そろそろそろ

僕

は

限界

です。





やあ、碓君

こんばんは

あ…碓君
いらっしやい

びく



今日も
来てくれたんだ

ギョウ

君との約束だからね。
それに、僕も毎日この
時間が楽しみなんだ



じゃあ
電気消すよ

うん

…?
そうだね、
そうしようか

あ、明日っ!!
明日早いからもう
寝なくちゃ…

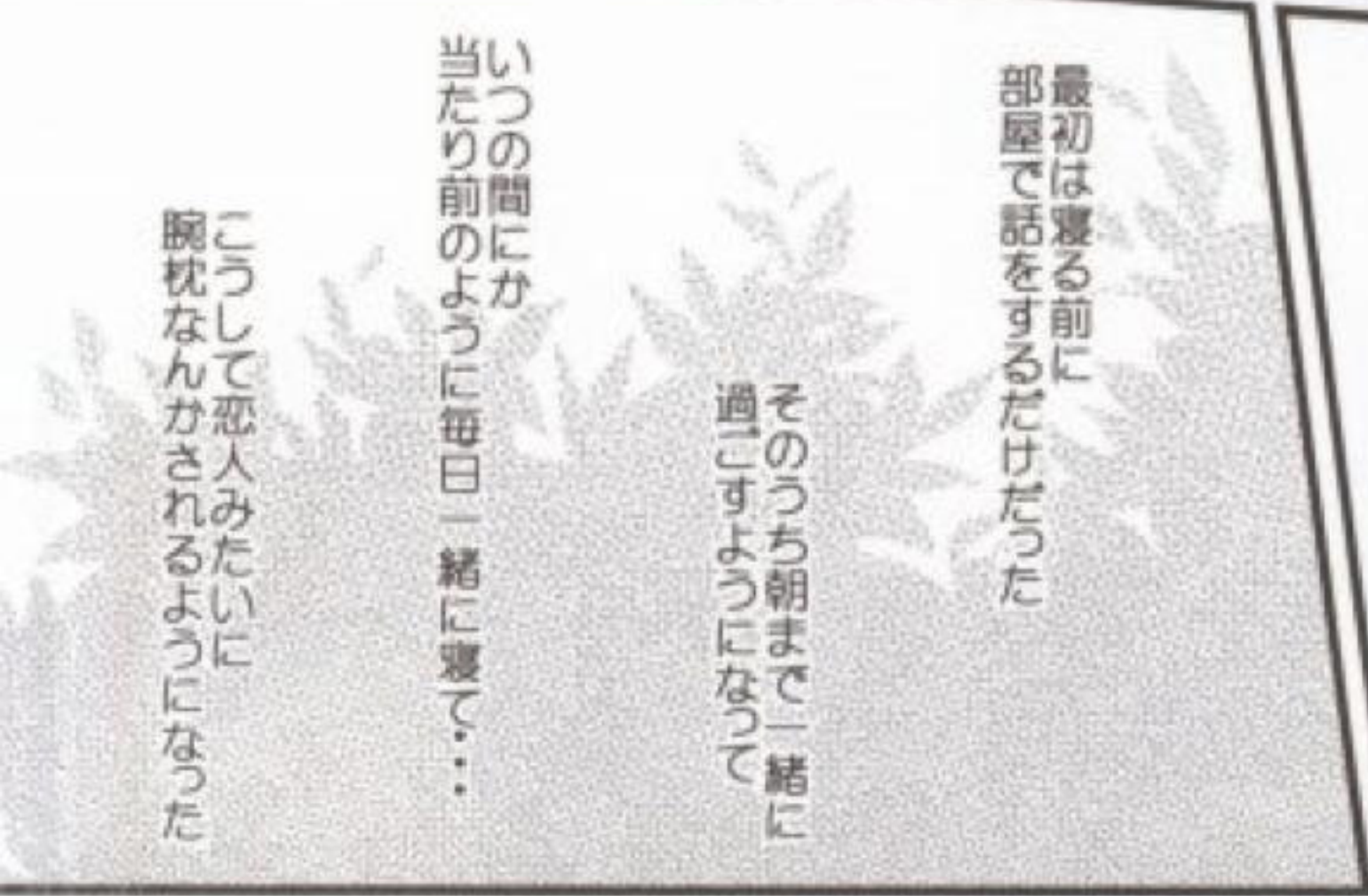
のっ



おいで
破君
今日も
抱っこして
寝よう



ギョッ



最初は寝る前に
部屋で話をするだけだった

そのうち朝まで一緒に
過ごすようになって

いつの間にか
当たり前のように毎日一緒に寝て...

こうして恋人みたいに
腕枕なんかされるようになった



気が付いたら

渚君とこんな関係に
なっていた



どうして渚君が
僕にこんな事をしてくれるのか
わからないけど

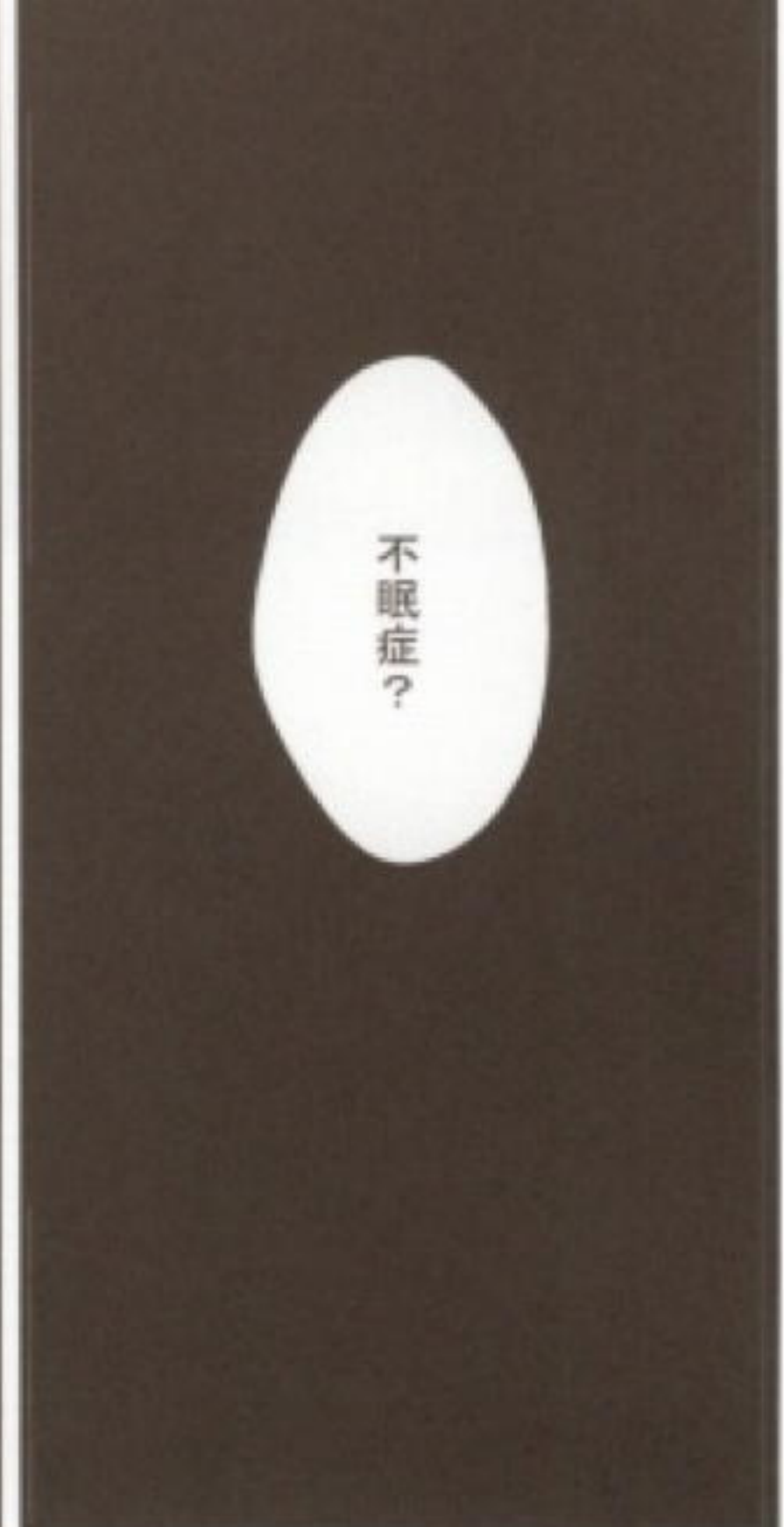
きつとあの日

僕が言った事を気にかけて

優しくしてくれているんだと思う



最近、夜になると
いつも嫌なことばかり
考えちゃってなかなか
寝付けられないんだ



不眠症？



それなら――



でも全く
寝てないわけじゃ
ないから……

ごめん
心配させちゃって



え

きつかけは
本当に、何げない会話からだった。



ずっと一緒に居るから
そんな時間もなかったし...

……せ







渚君の
心臓の音が聞こえる



ごめん…
もう我慢できなくなりました



渚君は男の子なの？」

僕って変態なのかな…











あぁ...



もダメ...
イクッ...あッ

な、渚君...



あッ

う...



やめて!!

ちゅっ



あれ



でもその状態じゃ
気持ち悪いだろ?



っ...

大変だ、洋服が
汚れてしまったね

かえ...

えっ



ビクッ
ヒクッ





僕のと

カタチも

大きさも

ハ

全然違う

すい

すい...

ハ



...

わ...
また大きくなった



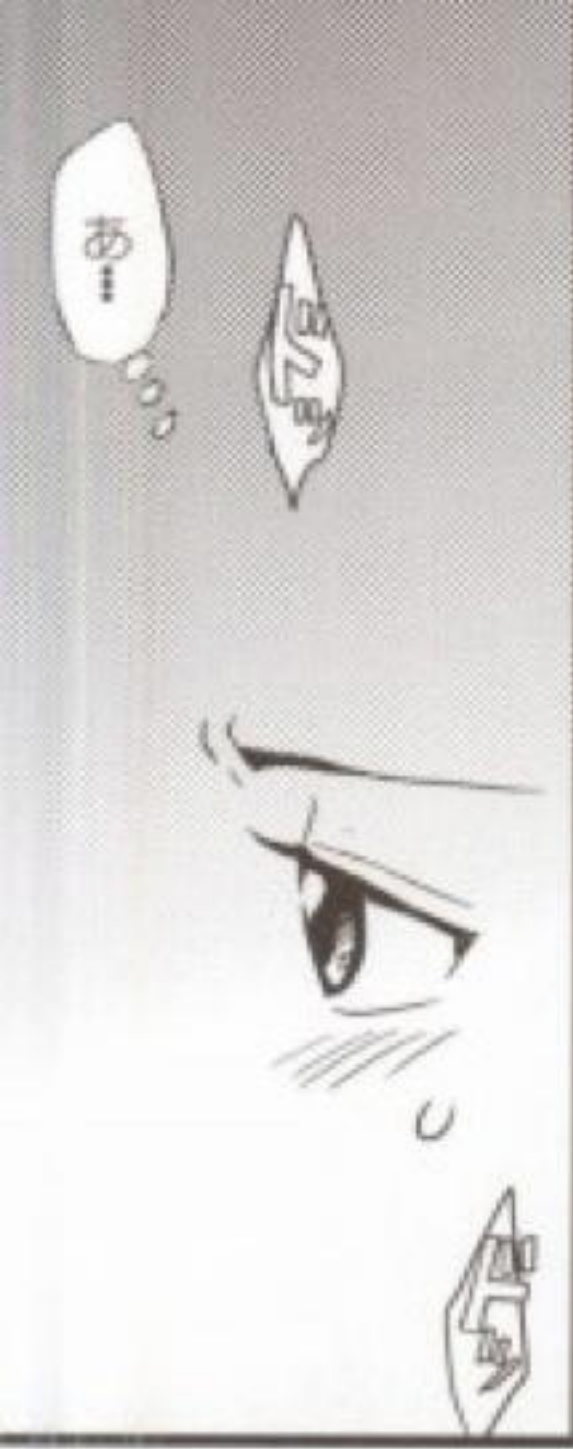
碓君の手
あたたかいね

とても
気持ちいいよ



あ
さっきした
はっかりなの...

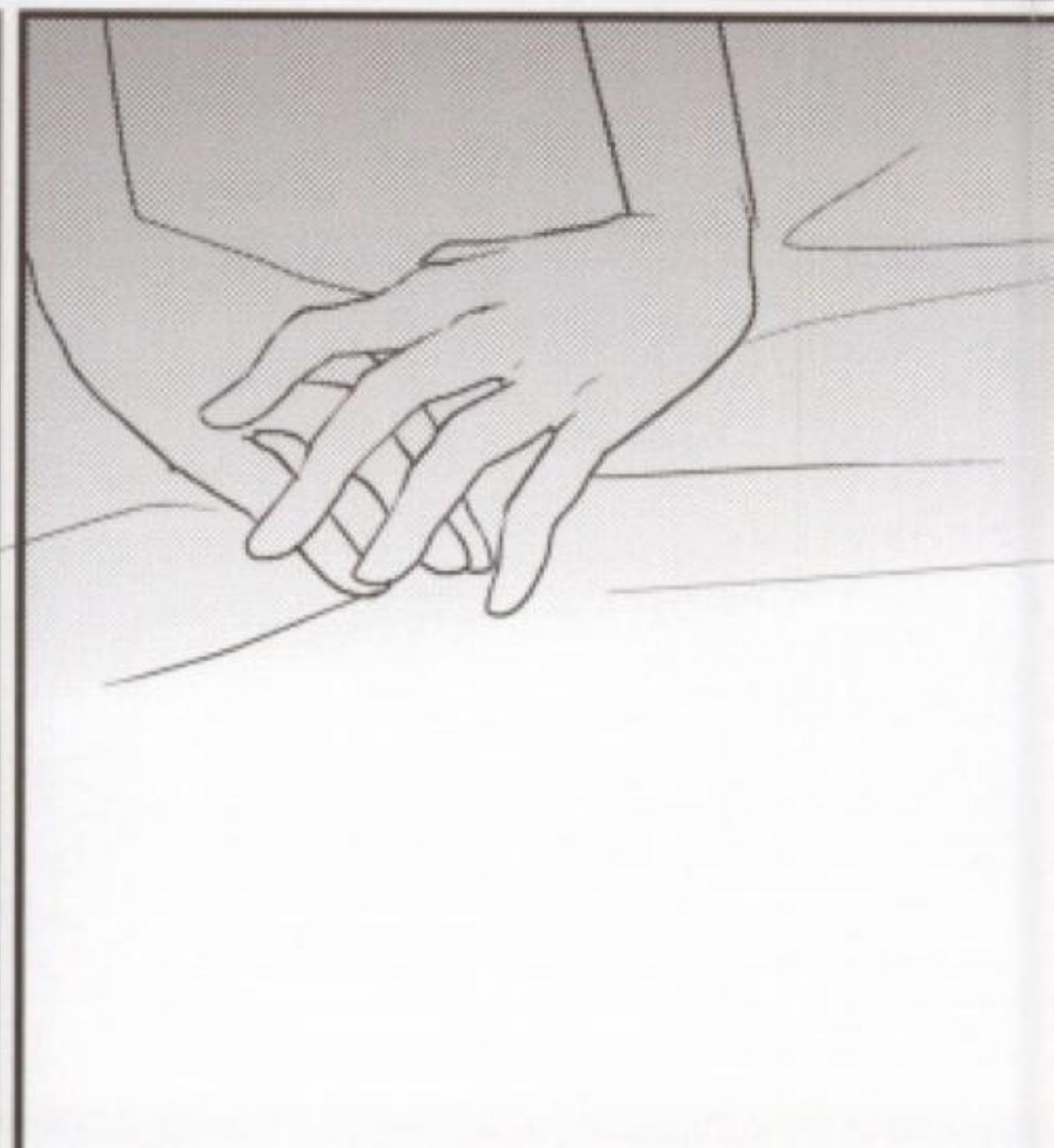
ハ







—あめ



えっちな事
するんだ……

そろそろ
僕は
は
限界
です。